

営農ウィークリーNEWS

*** 今年は暖冬により大発生恐れがあります ***

早めにジャンボタニシ防除を行いましょう！

1980年代に食用目的で日本に導入されたスクミリングガイ（通称ジャンボタニシ）は野生化し、基本的に柔らかい葉を好んで食べ、移植直後のイネで食害による欠株の被害が発生します。被害状況の特徴は、田植え後20日までのイネが柔らかい時期に集中しており、水温が高くなるほどに活動が活発になり被害が増加します。また深水になる田面の低い箇所やマクラ周辺に被害が目立ち、大型になるほど食害量は大きくなります。

被害を防ぐ3ポイント！！



水稲苗を食害するジャンボタニシ



食害された被害現場



産み付けられたジャンボタニシの卵塊

① 広げない（越冬個体を少なく）

■冬期に速度をゆっくり回転させて早めに耕うんし、物理的に貝を破碎したり、殻を傷つけて寒さの耐性を低下させるなど貝を減少させる。

② 入れない（ほ場への侵入を防ぐ）

■寒さに弱いですが、土中や用水路等で、一部越冬するため用水路の泥上げ、エサとなる雑草の除去、水田の落水、用水マスの貝の除去を行う。

③ 食べさせない（稲に寄り掛かせせない）

■貝は水中でしか稲を食べることができないので、田植え後3週間は水深4cm以下の浅水管理を行う。



★それでも食害が発生したら防除剤で迅速に対応しましょう。近年増加しているゲリラ豪雨などの多量の雨水が貝の移動手段となった急激な多発には、特に早急な対策が必要となります。

★上記のような対策を行っても、スクミリングガイ（ジャンボタニシ）被害が発生してしまう場合がございます。

また、一旦発生してしまうと、全てを駆除することは非常に困難で毎年被害が発生してしまう可能性が非常に高くなります。その場合、薬剤「**スクミン**粒剤」での防除をお勧めします。



—TAC information— 農林水産省からの病害虫発生予報で ジャンボタニシについて発表されました！



スクミリングガイ（ジャンボタニシ）は、今冬の気温が高かった地域では、多くの貝が越冬しているおそれがあります。今春の被害を抑えるため、移植前に取水口・排水口にネットや金網を設置するとともに、水田内の発生が多い場合には石灰窒素の散布の実施を検討してください。また、移植時は薬剤散布を実施し、移植後は水深を4cm(理想は1cm)以下に維持する浅水管理を実施してください。

本貝は、農機具・機械に付着した泥とともに他のほ場へ拡散することがあります。発生ほ場で使用した後は泥をよく落としてから移動させるよう心がけてください。なお、一旦定着した本貝を根絶することは困難なこと、また周辺の水田にも影響が及ぶことから、除草目的であっても、未発生地域や被害防止に取り組む地域での本貝の放飼は行わないでください。詳しくは、以下のURLをご覧ください。

●スクミリングガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について

参照 URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/sukumi/sukumi.html>

●スクミリングガイの防除支援マニュアル

参照 URL: <https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/applesnail/start>

農林水産省「令和5年度病害虫発生予報第10号」の発表について より抜粋



みのり姫の

ふれあいマルシェ

開催日時 **3月21日(木)** 10時30分～14時



季節のお野菜が
た～くさん♪

※天候等により、商品内容に変更が生じる場合がございます。



キッチンカー・
お弁当屋さんも
来るよ♪

J A 京都中央管内の新鮮な農産物を販売します
売切れ次第終了となりますのでお早めにお越しください!!

開催場所は地図を参照ください!!



J A 京都中央 神足支店 **東側** 駐車場
(ATM横) と支店内遊休スペース
住所 〒617-0826 京都府長岡京市開田4-14-8
TEL 075-932-0003 (※事務局 経済部 営農販売課)

会場に、自転車駐輪スペースを設けております。

台風や荒天などにより開催日や開催場所の変更、キッチンカーの設置等を中止する場合がございます。開催可否については、神足支店ATM横の案内板をご覧ください。

主催：J A 京都中央 共催：J A 京都中央 営農者会

【HP】 <http://kyo-ja.com/>